

やまもり通信 vol.75

あっという間に1月が終わり、節分です。
今年も無病息災を願って鬼は外?、福は内?!



【加子母の風景】たくさん雪が降って加子母がモノクロームの世界になりました。



こちら 彩都やまもりです

【住所】箕面市彩都栗生南1-17-26

<彩都やまもり 2・3月 彩輝館ギャラリー展示情報>

「岐阜の肴と楽しむお酒の時間」を紹介しています。

【期間】令和4年1月8日(土)～2月14日(月)

冬はお酒がおいしい季節。日本有数の酒どころ、岐阜の地酒と岐阜ならではのご当地グルメ、郷土料理を紹介しています。



豆知識「がんどうち」とは・・・

岐阜県飛騨地方に伝わるひな祭りの伝統行事です。
語源は、「がんど」=強盗、「うち」=打ち、で「強盗する」という意味だそうです。
昔は「よい婿」にもらわれてほしいと女の子のいる家庭が用意し料理

彩都やまもりの
これどない?

ひのきの
ペットテーブル

わんちゃんねこちゃん用のペットテーブルを数量限定で入荷しました。
ペットを飼っていらっしゃる方にはかなり人気の商品で、丸太のかたちそのままを生かした見た目はかわいさ抜群です◎

これで水を飲むわんちゃんたちの様子もとてもかわいいです♡
サイズは高さ約10cm 器直径11cm 深さ4.5cm ほどです。
お取り置きも可能ですので気になる方はお電話にてお問合せください。

【お問合せ】彩都やまもり(TEL:072-739-6046)

※最新情報は随時、
彩都やまもり HP
(<https://yamamori.site>) や
facebook でご確認ください。



やまもりHP

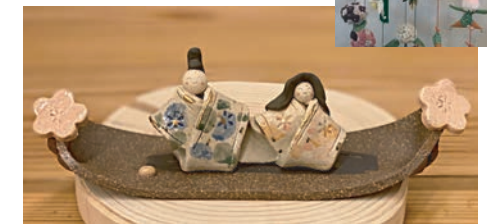


やまもりfacebook

「春を呼ぶ岐阜のおひな様」を開催します。

【期間】2月16日(水)～3月31日(木)

毎年大好評の「岐阜のおひな様」展。土雛やつるし雛といった伝承雛や変わり雛など岐阜に古くから伝わるおひな様を展示しながら、ひな祭りにまつわる岐阜ならではの風習や慣習をご紹介します。



を振る舞った風習があったそうで、いつしか子供たちのための行事になったと言われています。ひな祭りの日に子供たちが「ひーなさま、見しとくれ」と言いながら家々を回り、雛飾りの前のお菓子をもろう(がんどうち)するこの風習、まさに日本版ハロウィンといったところですね。

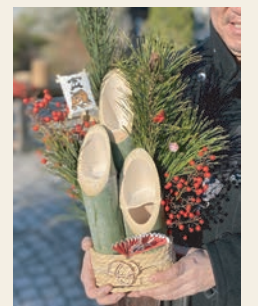
彩都やまもり
あつと日記

彩都やまもり感謝祭を開催しました!

12月19日(日)、彩都やまもりにて「年の瀬感謝祭」を開催しました。毎年大人気の門松づくりは申し込み開始早々に満席となってしまう、定員を増やしての開催となりました。みなさまとても素敵な門松を作られていて、嬉しそうに持ち帰ってくださったのでスタッフも喜んでいました。

もうひとつのメインイベントはなんといっても「木ま工房」出張販売です。出張販売が決まってからすぐたくさんのお問合せをいただいており、当日も朝早くから多くの方にお越しいただきました。大きいものはそれほど売れないかと思っていましたが、ありがたいことに完売続出で新たにご注文もいただくほどでした。今後の入荷や出店予定は Instagram にてお知らせいたしますのでそちらをご覧ください♡

その他にも岐阜の特産品販売やかんなくずを使ったワークショップなどなど、多くの方楽しんでいただけた1日となりました。ご来場いただいたみなさま、本当にありがとうございました。





本間希代子 絵描きイラストレーター 名古屋生まれ。加子母に移住して25年目。古楽器奏者の夫と娘と日々タタバタと加子母ライフを楽しんでいます。アトリエ玉手箱 <http://tebakko.jp>

ふるさと 岐阜 加子母がよい



平井和子さん

岐阜に暮らす「人」に焦点をあわせた企画の第3弾は岐阜県で林業の調査やコンサルタントをされている平井和子さんです。(やまもり通信編集室・以下「や」)

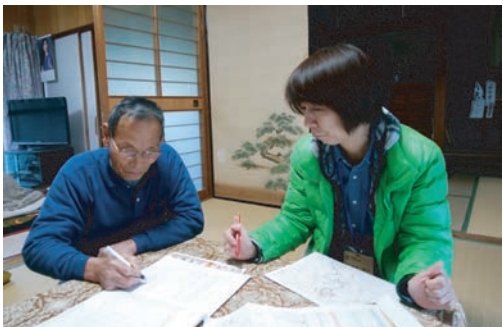


や) 平井さんは愛知県出身と聞きました。岐阜県に來られたいきさつは？

平井) はい、以前から田舎暮らしをしたくて2009年に思い切って会社を辞め、毎週末カヌーを通して通っていた長良川のある岐阜県に移住しました。

や) それなぜ林業を？

ひ) 縁あって山県市の山間地域の活性化のお仕事就いたことで、人口減に苦しむ地域と荒廃する森林を目の当たりにして、山に興味を持つようになりまし。活動を進めるにつれ、次第に林業関係者に話を伺う機会も増えるようになると、山に関わりの深い方ほど疲弊し、意欲を失っている傾向にあると感じ、山林を利用して地域



山林所有者さんへ説明している平井さん

の再生ができる方法を模索するようになりまし。2015年に高知県佐川町へ地域おこし協力隊員として3年間小規模な林業の実践と2年間の役場での林政勤務を経て、山は地域財産になり得ると手ごたえを持ち、2020年岐阜に戻りました。

今は岐阜県地域森林監理士として市町村で林政業務の支援を行ったり、関市の非常勤スタッフとして林務に関わりながら、山を活用し山に寄りそう暮らしのお手伝いをしていきたいと思っています。



山の境界確認の様子

※まめⅡ東濃地方の方言「元氣」という意味

加子母の人 山守日記9 第67回「かか」たちの開帳参詣

前回まで、村中で『抜け参り』が流行った話をご紹介しました。コロナウィルスで思うように旅行に行けない日々が続いている昨今では羨ましい話ですが、今回は、抜け参り騒動から3年後のお話。年配の女性陣だつて旅に出かけますよ！

● 私たちも行くちゃいましようよ

安永3年3月7日、善右衛門の妻おいくのお母さんが「かか(彦七の妻)」の元へやってきて、以前から二人で相談していた「開帳参り」を実行に移そうということになりました。周りのご夫人たちにも声をかけ参加者は増えていきました。孫がたくさんいてお婆ちゃんかと思いきや、実はまだ40〜50歳ぐらい。旅行の計画も膨らんで、京都まで行くちゃおつかという話もち上がり始めた。



● 一家総出で旅をサポート

ふだん村を離れることの少ない「かか」にとって念願の「開帳参り」。夫の彦七もできる限りのサポートをということことで道中で身につける着物をプレゼント。帯地と木綿の布を紺屋へ渡して染めさせるという、今みために既製品じゃないのよ！染めるところから！なのに帯地の染め上がり遅くて門出の宴が催される日に「今日



できなかつたら間に合わない！」と伝えて、ようやく濡れたまま受け取ってきたという、ドタバタ劇もありました。息子や娘たちも饞別や縁起物の「どりの口焼米」を渡したり、お寺から護符をもらってきたり、旅先で吸うタバコの葉を刻んだりして母親の一大イベントに協力を惜しみませんでした。

● いざ、開帳参りへ

3月16日の夜明け、彦七が借りてきた駕籠に乗り込み、いざ出発。娘婿の藤吉と杣頭の下人が駕籠かきを兼ねて最初の宿まで付き添いました。その後、かか達が「皆々こと他達者に歩き候」という報告を聞いた彦七は「大慶大慶」と喜びました。最初は京都までと威勢のいい事を言っていました。いく先々で寺社参詣を重ね最後は谷汲山華厳寺(岐阜県揖斐川町)まで赴いて、3月27日加子母へ帰ってきました。普段の生活から離れ11日間の女子旅、それは楽しかったらうなあと想像します。ちなみに「かか」から彦七へのお土産は、数珠一連と饅頭でした。

次号へ続く【文責本間】

参考文献・山村の人 家 つきあい 江戸時代の「かしも生活①」 太田尚宏著 徳川林政史研究所発行

関西発会活動けいじ板

● 土岐市・焼津市共創事業『ふるさと納税返礼品』PRに協力しました

関西岐阜県人連合会では昨年12月1日(水)〜12月11日(土)までの定休日を除く10日間、土岐市・焼津市のふるさと納税返礼品PR事業に協力させていただきました。

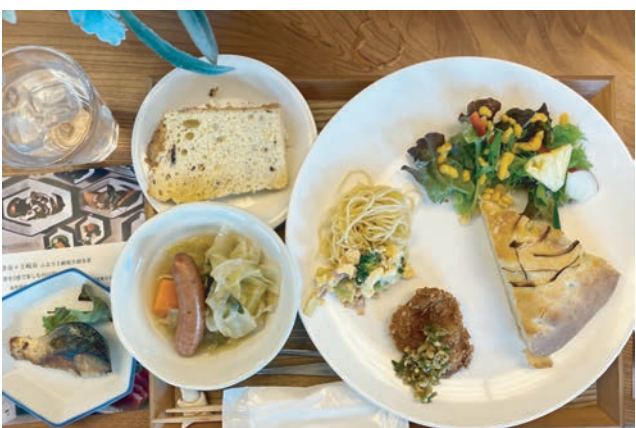
これは、スポーツ姉妹都市協定を結んでいる両市が互いの特産品でふるさと納税をPRするために取り組んだ事業で、事務局のある彩都やまもりに併設のカフェ「アリス」全面協力により実現しました。

カフェでは店内で飲食ご注文のお客様に、焼津産のマグロやかつおのたたき、お茶などを美濃焼の器に盛り付け、試食として日替わりで振舞っていただきましたが、思いもかけぬサービスにお客様の反応も上々だった様子。すべて土岐市や焼津市のふるさと納税返礼品ということで、ふるさと納税に関心をお持ちいただける良いきっかけづくりにもなったようです。

なお、美濃焼の食器は期間終了後も引き続きカフェで使用していただいております。ご興味ある方は、一度彩都やまもりにお越し下さい。



上：お茶提供の様子 下：鱈の塩焼き提供の様子



● 大阪岐阜県人会・関西岐阜県人連合会合同新年会を開催します

先月発行の新年号でもお伝えしましたが、大阪岐阜県人会と関西岐阜県人連合会合同の令和4年新年会を左記のとおり行います。引き続きコロナ対策を行いながら、今回は2年ぶりに「大抽選会」も行う予定です。是非ご参加くださいますようお願いいたします。

【日時】令和4年2月18日(金)18時〜20時
【場所】ホテルモントレ大阪 14F「浪鳴館」
大阪市北区梅田3-13-145
☎06-6458-1711
〔元大阪駅「桜橋」出口 徒歩約7分〕
【会費】おひとり7000円 ※同伴者同額